
Museu do Ar

について

航空博物館 (Museu do Ar) - アルヴェルカ (Alverca)

この珍しい博物館では、ポルトガルにおける軍や民間の飛行の歴史について学び、空を征服する道を切り開いたポルトガルの先駆者たちについて知ることができます。

ここに展示されている飛行機、エンジン、飛行装備、写真、そして実物の70分の1の大きさのモデル飛行機約600点は、太古の昔から人間が抱いてきた「空を飛ぶ」という夢を雄弁に物語っています。この博物館は、子どもたちに実物大のレプリカや、今も飛行可能な実物の飛行機を見せるのに最適の場所です。展示されている飛行機の中には、サントス・デュモンが使用した重さわずか118 kgの「ドゥモワゼル号」(1908年)から、ポルトガル空軍において初めて水平飛行で音速に達した飛行機まで、さまざまなものがあります。

ポルトガルにおける飛行の歴史の中で重要な日を3つ挙げると以下の通りになります：

1922年 - 操縦士のアルトゥール・サカドゥラ・カブラルと航空士のカルロス・ヴィエガス・ガーゴ・コウティーニョが、リスボンから厳しい行程を制覇してリオ・デ・ジャネイロに無事到着し、初の南大西洋横断に成功しました。この偉業の達成に使われたのは、フェ%

問い合わせ先

Granja do Marquês 2710-021 Sintra

電話： +351 21 967 89 84

ファックス： +351 21 967 89 38

Eメール: musedoar@emfa.pt

ウェブサイト: <http://www.emfa.pt/www/po/musar/?lang=pt>
